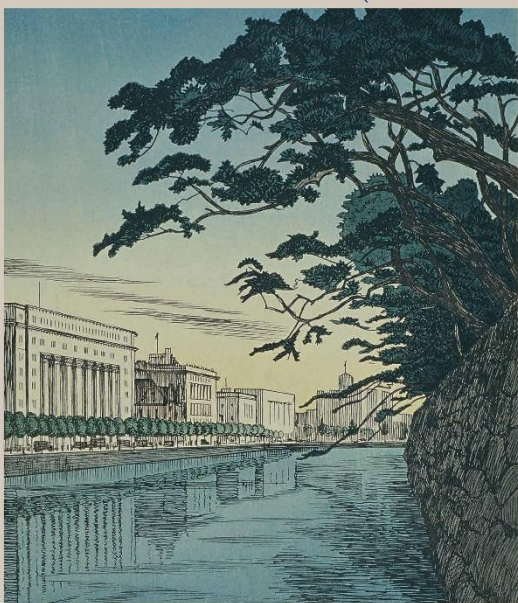


【東京ガス ガスミュージアム】 没後 50 年 ～濠端の散策者～「ノエル・ヌエット」展 開催のお知らせ

東京ガスのガスミュージアム(東京都小平市)では、2019年10月5日(土)から12月22日(日)まで、2019年度第三回企画展『没後50年～濠端の散策者～「ノエル・ヌエット」展』を、ガス灯館2階「ギャラリー」にて開催いたします。



noël nouët

没後 50 年

濠端の散策者

ノエル・ヌエット 展

2019 10 / 5 (土) → 12 / 22 (日)

会場 | ガス灯館2階「ギャラリー」 休館日 | 月曜日 (※当日は特別展のため休館)

開館時間 | 10:00 ~ 17:00 (※最終入館は16:30)

GAS MUSEUM 小平資料館

大正15年(1926)に初めて来日した、詩人でもあるノエル・ヌエット氏は、昭和37年(1962)にフランスへ帰国するまでの30年以上の間、フランス語の教鞭をとるかたわら、戦前戦後の東京の街を歩いて多くのスケッチを残しました。作品は絵葉書や版画として人々の目を楽しませ、詩に詠われたその風景は、描かれたスケッチとともに書籍にまとめられました。

東京の風景のなかでも、皇居お濠端の風景を好み、お濠端を散策して数多くのスケッチを描き、版画の題材にも取り上げました。また戦後、お濠端のスケッチと皇居についての随筆や詩をまとめた書籍「宮城環景」からは、氏が好んだお濠端の風景を知ることができます。

今回は、本年が没後50年に当たるノエル・ヌエット氏の、スケッチを元に制作された版画と対比する現在の風景写真、なかでも皇居お濠端の風景を取り上げた作品を、画集や書籍、絵葉書などとあわせ、一外国人の見続けた、戦前戦後の東京の風景の移りかわりを紹介します。



「東京風景 弁慶堀」
ノエル・ヌエット
1936年(昭和11)



現在の風景



「東京風景 日本橋」
ノエル・ヌエット
1936年(昭和11)



現在の風景

